

## 会 議 録

1	会議名称	令和3年度 第1回 宝達志水町地域公共交通協議会【一部書面付議】
2	会議日時	令和3年7月5日（月）午前10時～午前11時
3	会議場所	宝達志水町生涯学習センター さくらドーム21 2階 第一会議室
4	付議期間	令和3年6月22日（火）から令和3年6月29日（火）
5	議決総数	21名
6	回答委員	<p>宝達志水町区長会 副会長 中西輝一郎          宝達志水町老人クラブ連合会 会長 林一郎          宝達志水町民生・児童委員協議会 副会長 吉田裕          宝達志水町健康づくり推進員 会長 松田文江          宝達志水町社会福祉協議会 事務局長 下次勇          宝達志水町商工会 会長 市村昭代史          宝達志水町立宝達志水病院 事務局長 松田英世          西日本旅客鉄道株式会社七尾鉄道部 部長 江下喜久夫          (株)敷浪タクシー 代表取締役 源野正和          北陸信越運輸局交通政策部交通企画課 課長 玉巻史成          北陸信越運輸局石川運輸支局 首席運輸企画専門官 木村幸典          石川県企画振興部新幹線・交通対策監室 主任企画員 島内理名          羽咋警察署交通課 課長 館伸一          石川県羽咋土木事務所維持管理課 課長 瀬戸秀樹          宝達志水町副町長 高下栄次          宝達志水町総務課 課長 村井仁志          宝達志水町健康福祉課 課長 岡田正人          宝達志水町地域整備課 課長 藤本清司          宝達志水町学校教育課 課長 笠松幹生          宝達志水町生涯学習課 課長 坂井賢 【計：19名】</p> <p>【当日欠席委員】          西日本旅客鉄道株式会社七尾鉄道部 部長 江下喜久夫          羽咋警察署交通課 課長 館伸一          宝達志水町学校教育課 課長 笠松幹生          宝達志水町生涯学習課 課長 坂井賢</p>
7	事務局	(企画振興課) 安達大治課長、岡野秀紀課長補佐、松本宗久主幹
8	議 事	<p>新型コロナウイルス感染拡大の影響を考慮し、会議当日の円滑な議事進行のため、一部、書面付議により開催した。</p> <p>報告第1号 デマンドタクシー事業の運営状況について          資料No.1に基づき報告</p>

報告第2号 コミュニティバス事業について  
資料No.2に基づき報告

議案第1号 令和2年度決算の承認について

可：19人 否：0人

原案のとおり承認された。

議案第2号 地域内フィーダー系統確保維持計画について

可：19人 否：0人

原案のとおり承認された。

### 【会議当日議事】

開 会

#### 1 会長あいさつ

本日は令和3年度第1回協議会にお集まりいただき、ありがとうございます。今回協議会に向けて、運行事業者へのヒアリングやコミュニティバス乗客へのアンケートなどを実施しています。事務局説明の後、忌憚のないご意見をお願いします。

#### 2 議事案件

##### (1) 書面決議の結果について

- ①報告第1号 デマンドタクシー事業の運営状況について
- ②報告第2号 コミュニティバス事業について
- ③議案第1号 令和2年度決算の承認について
- ④議案第2号 地域内フィーダー系統確保維持計画について

##### (2) 議事案件

- ①議案第3号 地域公共交通計画（案）について

質疑応答

##### (1) 書面決議の結果について

※ 事務局説明後、質疑なし

##### (2) 議事案件

木村委員：基本理念に掲載したクロスセクター効果について、まだ仮説段階の概念だと考えているので、基本理念に入れるのはなじまないだろう。もう少し効果を検証した段階で理念に加えていただきたい。

事務局：試算結果で効果があったことから掲載したが、ご指摘を受けて、表現を見直したい。（協議会後の個別確認で、掲載可となった）

市村委員：コミュニティバスで利用が多い宝寿荘利用者の声は確認している

か。

事務局：施設管理者へのヒアリング、コミュニティバスの乗り込み調査にて、利用者の声を確認して、新運行形態の案を検討している。

事務局：コミュニティバスについては、宝寿荘利用者に特化することになるので、不便になることはない想定している。

高下会長：委員の中にコミュニティバスの利用者はいないが、利用者の声をしっかり確認して検討すること。

下次委員：南北シャトルはどのような車両を想定しているのか。

事務局：敷浪タクシーが保有するワンボックスタイプの車両を想定している。ドア to ドアのサービスではないが、小回りがきき、ある程度の需要への対応などを想定し、車両を設定したい。

下次委員：コミュニティバスは減らしていくのか。

事務局：コミュニティバスは宝寿荘に特化する計画となり、デマンドタクシーを利用しやすい金額にするなどし、対応したい。

林委員：南北シャトルの帰りが1便で、羽咋病院を11時発としているが、ニーズにあうのか。

事務局：ダイヤはイメージとして示しており、実際の利用者の声を確認し、調整していきたい。

下次委員：コミュニティバスの利用者は、300円を値上げと感じるのではないか。

事務局：コミュニティバスは、利用が多い宝寿荘利用者に特化する。その他の方は利用頻度が少なく、旧町域内であればデマンドタクシーを安く利用できる。

高下会長：新たな運行形態により、宝達志水病院の利用者が増加するのか。

松田委員：これまでコミュニティバスを利用した受診自体は少なかった。デマンドタクシーや南北シャトルで受診することとなる場合、有料となるので、どのような動向になるか何とも言えない。

事務局：コミュニティバスから南北シャトルになる方は、一部値上げになる方もいるだろうが、病院利用者のニーズにあう時間となり、移動時間短縮も図れるのではないか。一方、デマンドタクシー利用者の方は、旧町域内であれば値下げとなる。南北シャトルの料金は、デマンドタクシーとのバランスを取って検討している。

高下会長：運行事業者である源野委員はどのように考えるか。

源野委員：新運行形態になるメリットは2つある。長距離移動である羽咋病院などへの用途が多いので、そのような方が安くなるのは良いだろう。また、乗車時間が短くなり、運行ダイヤがスムーズになること

も良いことで、コミュニティバスをスリム化するためにもいい案であろう。南北シャトルの帰りの便を増やすことも考えられ、デマンドタクシーのダイヤも考慮して検討できるだろう。

下次委員：一定料金でよいのか。

源野委員：一定の料金の方が利用者に分かりやすく、周知もしやすい。デマンドタクシーは旧町域内で値下げとなり、利用者にはメリットがあるだろう。

下次委員：月額パスがあってもいいのではないか。

源野委員：利用者の声を聴いて、検討してみたい。

市村委員：今後、タイムリーな見直しのためにも、データが重要となるだろう。

事務局：コミュニティバスでは資料2にある通り、乗降場所のデータを収集している。デマンドタクシーについては、敷浪タクシーさんで乗降場所などを整理しており、今後も連携して取得していきたい。

市村委員：データ活用がますます重要になるので、ほっぴーさんカードを活用するなど、前向きに進めて欲しい。

事務局：ICカード活用については、煩雑さを提供することになるほか、全ての利用者の提示が習慣化されなければ無意味となることなどから、導入については慎重に検討する必要がある。

市村委員：ほっぴーさんポイントを付与すればよい。他の事業でも行政ポイントを付与している。

源野委員：デマンドタクシーはシステムで予約データを収集できている。コミュニティバスの乗降データは、手書きで把握できている。

高山副会長：地域の公共交通を考えていく際、町民の日常生活の移動が分かれば考えやすい。そういう点で、今回は利用実態を詳細に分析して、コミュニティバス、デマンドタクシーの2つから、南北シャトルを加えた3つの仕組みに再編している。長距離移動について特化するものを作っており、面的な移動については従来通りだが旧町域で割引も検討されている。ただし、永続的にこのままというわけにいかない。新たな需要に応じて見直しも必要で、そのためにデータ取得が必要である。デマンドタクシーはシステムのデータがあり、コミュニティバスは乗った場所さえ分かれば、目的地は明確で、南北シャトルも目的地が明確なので、取得しやすい。どういうカードを導入するか、というのものもあるが、それに新たに予算をかけるべきかは、小さな町なので、検討しなければならないのではないかと。小さな町なので新たな仕組みに拘らず、効果的な方法であればよいだろう。需要が増えて手書きのデータ収集が追いつかなくなるのであればデジタル化も必要なのかもしれないが、当面は、今の仕組みで大丈夫であろう。

	<p>高下会長：データに基づき、検討していけるようにすることが重要。</p> <p>高山副会長：基本方針ごとの施策については良いが、JR 七尾線については、小さな町にしては多い年間 23 万人以上が利用するので、利用促進を進める必要がある。町外への移動で使う利用者がほとんどであろうから、3 駅へのアクセスを向上させる必要がある。現在の施策は自動車向けのものだけであるが、どのように考えているのか。</p> <p>高下会長：コミュニティバスと JR の連携は考えていないのか。</p> <p>事務局：JR との接続も検討したが、通勤通学の時間帯に合わせる事が難しい。そのため、P&amp;R などの自動車向けの施策となっている。基本的には、デマンドタクシーでの対応となる。</p> <p>源野委員：コミュニティバスはスクールバスなので、通勤通学の時間帯で使えない。デマンドタクシーは 7:30 からであるが、(宝達駅発の) 医科大バスの送迎が多い。朝の時間帯については、状況に応じて考えていくことになるだろう。</p> <p>高山副会長：JR で通学する高校生は、どのように駅までいっているのか。家族の送迎か自転車か。</p> <p>事務局：そうであろうと思われる。</p> <p>高山副会長：JR 利用の高校生への支援も、今後、考えられたらいいだろう。</p> <p>高下会長：ご意見ありがとうございます。 高山副会長や各委員からのご意見もいただいたので、事務局は対応して欲しい。事務局に進行を戻します。</p> <p>事務局：本日のご意見を踏まえて、計画策定に向けて検討していきます。</p> <p style="text-align: right;">閉 会</p>
9 資 料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和 3 年度 第 1 回 宝達志水町地域公共交通協議会 次第</li> <li>・資料No.1 報告第 1 号 デマンドタクシー事業の運営状況について</li> <li>・資料No.2 報告第 2 号 コミュニティバス事業について</li> <li>・資料No.3 議案第 1 号 令和 2 年度決算の承認について</li> <li>・資料No.4 議案第 2 号 令和 3 年度地域内フィーダー系統確保維持計画について</li> <li>・資料No.5 宝達志水町地域公共交通計画 (案)</li> <li>・宝達志水町における新運行形態 (案)</li> </ul>